



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フェローテック

コード番号 6890 URL <http://www.ferrotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 章

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山村 丈 TEL 03-3281-8186

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 33,615 | 15.0 | 1,942 | 62.0 | 1,888 | 126.4 | 1,202 | 239.1 |
| 27年3月期第2四半期 | 29,238 | 44.5 | 1,199 | 653.9 | 834 | 57.3 | 354 | △48.9 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,689百万円 (ー%) 27年3月期第2四半期 △1,593百万円 (ー%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 39.02 | 38.96 |
| 27年3月期第2四半期 | 11.51 | ー |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 86,960 | 41,181 | 46.3 | 1,307.94 |
| 27年3月期 | 79,410 | 39,431 | 48.9 | 1,260.82 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 40,298百万円 27年3月期 38,846百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | ー | 0.00 | ー | 8.00 | 8.00 |
| 28年3月期 | ー | 0.00 | | | |
| 28年3月期(予想) | | | ー | 8.00 | 8.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 66,000 | 11.7 | 3,400 | 103.5 | 3,000 | 47.7 | 1,900 | ー | 61.66 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期2Q | 30,903,702株 | 27年3月期 | 30,903,702株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 93,424株 | 27年3月期 | 93,424株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期2Q | 30,810,278株 | 27年3月期2Q | 30,810,278株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明会資料は、決算説明会終了後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな拡大ながら、経済指標は市場予測を下回るなど減速感が見られ、中国や欧州の経済活動の先行き不透明感から金利引上げ観測が後退しました。中国はGDP成長率が政府発表を下回り、成長鈍化が鮮明になったほか、想定以上の減速ペースとの見方が強まりました。中国の生産停滞から貿易低迷に至り、各国経済に波及するのではないかと懸念もあり、世界経済は不透明な状況です。

我が国では、量的緩和策の継続により企業活動に回復の兆しが見えたものの、中国経済減速の影響や天候不順の影響で、消費者心理の改善は足踏み状態がみられます。為替相場では、8月後半にやや円高方向に動きましたが、その後、小幅な値動きが続いております。

当社グループの属するエレクトロニクス産業におきましては、半導体業界の設備投資にやや減速感がありましたが、設備稼働率は一定の水準で推移しました。太陽電池産業では、世界の太陽光発電所の設置が進み、日本・中国・米国に加えアジア・南米・アフリカなど新興国での発電所計画が相次いで発表されております。自動車産業では、中国市場での販売が前年割れとなりましたが、北米市場での販売台数がリーマンショック後の最高値を更新するなど高水準に推移しております。

このような事業環境のなか、当社グループの装置関連事業につきましては、液晶パネル製造装置向けの真空シールや半導体製造工程で使用されるマテリアル製品の需要は堅調でした。太陽電池関連事業におきましては、シリコン製品の採算改善効果が徐々に表れてまいりました。電子デバイス事業のサーモモジュールにおきましては、自動車温調シートのほか民生向けが好調であり増産投資をいたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は33,615百万円(前年同期比15.0%増)、営業利益は1,942百万円(前年同期比62.0%増)、経常利益は、1,888百万円(前年同期比126.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,202百万円(前年同期比239.1%増)となりました。

セグメントにつきましては、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」、「太陽電池関連事業」および「電子デバイス事業」の3区分を報告セグメントとして分類しております。

セグメントの状況は以下のとおりです。

(装置関連事業)

当該事業の主な製品は、真空シール、石英製品、セラミックス製品、CVD-SiC、シリコンウエーハ加工などです。

石英製品やセラミックスなど半導体の製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、7月から新たにCVD-SiCが加わりました。スマートフォンやタブレットPCに使用される半導体およびフラッシュメモリーなどの生産が堅調に推移したため当該製品も需要増となりました。各種製造装置やロボットの回転機構に使用する真空シールは、液晶パネルや有機EL製造装置向けに需要が増加に転じました。また、シリコンウエーハ加工は、安定的な小口径ウエーハの需要があり底堅く推移しました。

この結果、当該事業の売上高は15,491百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益は1,436百万円(前年同期比56.6%増)となりました。

(太陽電池関連事業)

当該事業の主な製品は、シリコン製品、石英坩堝、角槽、シリコン結晶製造装置などです。

太陽電池産業は、世界市場で堅調な推移となりましたが、シリコン結晶製造装置の引合いはあるものの実需には至りませんでした。太陽電池パネルの材料となるシリコン製品は、多結晶ウエーハ加工から撤退した他、2014年末から推進していた生産拠点の移転を進めましたが、売上が伸び悩み業績を圧迫いたしました。消耗品である坩堝・角槽の需要も低調に推移しました。

この結果、当該事業の売上高は8,741百万円(前年同期比13.9%減)、営業損失は737百万円(前年同期は246百万円の営業損失)となりました。

(電子デバイス事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、パワー半導体基板、磁性流体などです。

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、米国市場での自動車販売が高水準に推移し、加えて中国市場向けの温調シート搭載高級車も堅調でした。医療検査装置やバイオ関連機器用途も好調で、家電分野や食品ケース用途なども堅調に推移しました。半導体向けチラーや光通信機器用途も、概ね計画のとおりとなりました。生産量確保のため自動化ラインの増設を行っております。一方、パワー半導体用基板も順調に売上を伸ばしました。

磁性流体は、好調な車載用スピーカーを始め、4Kテレビ用スピーカーなど幅広く採用されております。

この結果、当該事業の売上高は6,466百万円(前年同期比55.3%増)、営業利益は1,218百万円(前年同期比101.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

<資産>

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ7,550百万円増加し、86,960百万円となりました。これは主に現金及び預金2,554百万円、受取手形及び売掛金2,156百万円、たな卸資産2,984百万円の増加によるものであります。

<負債>

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ5,800百万円増加し、45,779百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金2,866百万円、長期借入金2,332百万円の増加と短期借入金1,031百万円の減少によるものであります。

<純資産>

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,750百万円増加し、41,181百万円となりました。これは主に利益剰余金955百万円と為替換算調整勘定610百万円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,554百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には13,072百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は3,596百万円(前年同期比776百万円減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,864百万円、減価償却費2,119百万円、仕入債務の増加額1,713百万円、たな卸資産の増加額2,390百万円によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は2,316百万円(前年同期比1,192百万円増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,936百万円によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果得られた資金は1,164百万円(前年同期は2,513百万円の支出)となりました。これは主に長期借入れによる収入4,500百万円、短期借入金の減少額1,314百万円、長期借入金の返済による支出1,723百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,517,647 | 13,072,342 |
| 受取手形及び売掛金 | 16,971,007 | 19,127,906 |
| 商品及び製品 | 5,887,154 | 6,911,716 |
| 仕掛品 | 2,408,382 | 4,002,084 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,840,708 | 6,207,193 |
| その他 | 3,698,406 | 3,192,176 |
| 貸倒引当金 | △904,797 | △916,295 |
| 流動資産合計 | 44,418,509 | 51,597,124 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,287,309 | 7,096,408 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 9,995,789 | 10,833,790 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 6,394,347 | 6,337,025 |
| 土地 | 638,540 | 634,203 |
| リース資産(純額) | 404,621 | 747,678 |
| 建設仮勘定 | 3,018,448 | 2,296,603 |
| 有形固定資産合計 | 27,739,056 | 27,945,710 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 530,176 | 760,537 |
| その他 | 1,345,420 | 1,408,610 |
| 無形固定資産合計 | 1,875,596 | 2,169,148 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 5,972,131 | 6,099,986 |
| 貸倒引当金 | △594,701 | △851,093 |
| 投資その他の資産合計 | 5,377,430 | 5,248,892 |
| 固定資産合計 | 34,992,083 | 35,363,751 |
| 資産合計 | 79,410,592 | 86,960,876 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 13,241,079 | 16,107,722 |
| 短期借入金 | 8,352,662 | 7,320,927 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,321,300 | 3,779,813 |
| 未払法人税等 | 283,724 | 397,699 |
| 賞与引当金 | 954,851 | 979,786 |
| その他 | 5,381,934 | 6,084,283 |
| 流動負債合計 | 31,535,553 | 34,670,234 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,239,960 | 7,572,375 |
| 退職給付に係る負債 | 176,339 | 216,581 |
| 役員退職慰労引当金 | 55,950 | 18,694 |
| 資産除去債務 | 82,643 | 93,881 |
| その他 | 2,888,936 | 3,207,651 |
| 固定負債合計 | 8,443,828 | 11,109,183 |
| 負債合計 | 39,979,381 | 45,779,418 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,201,346 | 13,201,346 |
| 資本剰余金 | 13,803,253 | 13,803,253 |
| 利益剰余金 | 1,368,728 | 2,324,608 |
| 自己株式 | △86,355 | △86,355 |
| 株主資本合計 | 28,286,972 | 29,242,853 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 200,170 | 83,243 |
| 為替換算調整勘定 | 10,461,849 | 11,072,170 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △102,708 | △100,156 |
| その他の包括利益累計額合計 | 10,559,311 | 11,055,257 |
| 新株予約権 | 8,927 | 16,565 |
| 非支配株主持分 | 575,998 | 866,781 |
| 純資産合計 | 39,431,211 | 41,181,458 |
| 負債純資産合計 | 79,410,592 | 86,960,876 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 29,238,318 | 33,615,889 |
| 売上原価 | 22,561,060 | 25,067,217 |
| 売上総利益 | 6,677,257 | 8,548,672 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,477,968 | 6,605,786 |
| 営業利益 | 1,199,288 | 1,942,885 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11,232 | 17,528 |
| 為替差益 | — | 243,692 |
| 持分法による投資利益 | 76,753 | 53,385 |
| その他 | 148,979 | 100,642 |
| 営業外収益合計 | 236,966 | 415,249 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 280,388 | 275,214 |
| 為替差損 | 106,132 | — |
| その他 | 215,576 | 194,087 |
| 営業外費用合計 | 602,096 | 469,302 |
| 経常利益 | 834,158 | 1,888,831 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,936 | 29,205 |
| その他 | — | 257 |
| 特別利益合計 | 2,936 | 29,462 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 17,887 | 50,509 |
| 減損損失 | 38,989 | — |
| 関係会社株式評価損 | — | 3,722 |
| 特別損失合計 | 56,877 | 54,231 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 780,217 | 1,864,062 |
| 法人税等 | 433,346 | 681,388 |
| 四半期純利益 | 346,870 | 1,182,674 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △7,660 | △19,688 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 354,531 | 1,202,362 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 346,870 | 1,182,674 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 85,071 | △116,927 |
| 為替換算調整勘定 | △2,021,057 | 618,614 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,253 | 2,552 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △7,117 | 2,594 |
| その他の包括利益合計 | △1,940,850 | 506,833 |
| 四半期包括利益 | △1,593,980 | 1,689,507 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,552,957 | 1,698,308 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △41,023 | △8,801 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 780,217 | 1,864,062 |
| 減価償却費 | 1,899,793 | 2,119,739 |
| 減損損失 | 38,989 | — |
| のれん償却額 | 80,811 | 69,954 |
| 株式報酬費用 | — | 7,895 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 167,287 | 9,510 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △8,170 | △37,255 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △20,496 | 232,789 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △31,598 | 31,330 |
| 受取利息及び受取配当金 | △15,998 | △23,607 |
| 支払利息 | 280,388 | 275,214 |
| 為替差損益(△は益) | 111,618 | △90,348 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △76,753 | △53,385 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △2,936 | △29,205 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 17,887 | 50,509 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,067,335 | △941,741 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △83,189 | △2,390,416 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 2,585,096 | 1,713,594 |
| その他 | 177,185 | 1,313,644 |
| 小計 | 4,832,798 | 4,122,286 |
| 利息及び配当金の受取額 | 19,852 | 36,553 |
| 利息の支払額 | △281,822 | △276,769 |
| 法人税等の支払額 | △197,690 | △285,113 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,373,137 | 3,596,956 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,314,289 | △1,936,271 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 327,177 | 196,228 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △92,309 | △718 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △221,008 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △38,077 | — |
| 貸付けによる支出 | △600 | △20,000 |
| 貸付金の回収による収入 | 54,765 | 51,409 |
| その他 | △60,211 | △385,777 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,123,545 | △2,316,138 |

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △960,168 | △1,314,199 |
| 長期借入れによる収入 | 200,000 | 4,500,380 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,531,882 | △1,723,296 |
| リース債務の返済による支出 | △37,059 | △49,816 |
| 配当金の支払額 | △184,554 | △248,208 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,513,664 | 1,164,859 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △268,502 | 109,018 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 467,425 | 2,554,695 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,550,727 | 10,517,647 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,018,152 | 13,072,342 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|------------------------------|------------|--------------|--------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 装置関 連事業 | 太陽電池 関連事業 | 電子デバ イス事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への 売上高 | 12,947,798 | 10,153,028 | 4,164,178 | 27,265,005 | 1,973,313 | 29,238,318 | — | 29,238,318 |
| (2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 42,633 | — | — | 42,633 | — | 42,633 | △42,633 | — |
| 計 | 12,990,431 | 10,153,028 | 4,164,178 | 27,307,638 | 1,973,313 | 29,280,951 | △42,633 | 29,238,318 |
| セグメント利益又 は損失 (△) | 917,586 | △246,896 | 604,255 | 1,274,945 | △51,888 | 1,223,056 | △23,768 | 1,199,288 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△23,768千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|------------------------------|------------|--------------|--------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 装置関 連事業 | 太陽電池 関連事業 | 電子デバ イス事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への 売上高 | 15,491,018 | 8,741,257 | 6,466,414 | 30,698,689 | 2,917,200 | 33,615,889 | — | 33,615,889 |
| (2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 34,385 | — | — | 34,385 | 2,131 | 36,517 | △36,517 | — |
| 計 | 15,525,403 | 8,741,257 | 6,466,414 | 30,733,075 | 2,919,331 | 33,652,407 | △36,517 | 33,615,889 |
| セグメント利益又 は損失 (△) | 1,436,689 | △737,036 | 1,218,569 | 1,918,223 | 62,716 | 1,980,939 | △38,054 | 1,942,885 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△38,054千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。